

懇談会における委員からの主な質問及び意見（抜粋）

1 東海第二発電所に関すること（回答：原電）

(1) 日立市における訪問対話活動について

質問及び意見	回答
原電が同じく所有している敦賀原発では、訪問対話活動は行われているのか。	敦賀地区は25年以上前から、訪問対話活動を実施している。 その他の理解活動についても、東海地区と敦賀地区が全く同じではなく、地域のニーズ等も踏まえ、活動内容変えている。
敦賀地区では、訪問対話活動を25年以上行っているのに、東海地区ではここ数年しか行っていないのはなぜか。	敦賀地区での実績から、訪問対話活動に一定の成果があるとの認識を持った。 東海地区では、他のいくつかの理解活動を行っていたが、訪問による活動も必要であるとの判断に至り、3年前から行っている。
【意見】訪問対話活動の意義は、地域の信頼を得ることである。また、信頼を得るためには、“原子力発電所を安全に運営する”ことに尽きると考えている。事故や火災を防止することで、訪問対話活動と同様の効果があるということを確認し、所員に徹底してもらいたい。	
今後、訪問対話活動について、完了の目途のようなものはあるのか。	訪問対話活動については、安全対策と同様に終わりはないと考えている。 皆様の判断に資するため、今後も様々な媒体を通して、情報を的確かつスピーディに届けたい。

(2) 情報公開の見直しについて

質問及び意見	回答
他の様々な発電所における年間の事故の発生割合と比較して、原電で起きた事故の頻度は、多いのか少ないのか。	令和4年度、令和5年度と、立て続けに火災を発生させており、他の発電所と比較して多いと判断している。
火災の原因としては、老朽化が原因なのか。	2年間で8件の火災事象について、2件が経年劣化によるものであった。
他の火災事象の原因としては、どのようなものがあったか。	安全性向上対策工事に係る仮設電源設備を設置したが、時間の経過とともに水没す

	<p>る等、環境が変化した場合や、電源の入切をブレーカーで行うなど、誤った使用方法で火災につながったケースもあった。</p>
<p>安全性向上対策工事に伴い、仮設電源設備を屋外設置してから10年近く経過しているにも関わらず、従来通りの点検を継続していたことが、水没による火災の原因の一つであると聞いている。</p> <p>これについては、マニュアル等を作成し運用していくとのことで、対策が取られていくと思うが、どのようなものか。</p>	<p>仮設電源設備について、従来は、工事期間中の短期間しか使わないものとして、月に1回程度の外観の目視点検を行うことをルールとして定めていた。しかし、火災の発生を受けて、仮設とはいえ長期間の使用に合った点検が必要と判断し、年に1回、設備を停電させて点検を行うことをルールとして定めた。</p>
<p>事故防止対策について、問題ばかりを公表し緊張感を高める対応をするのではなく、現場からの良い意見も公表及び共有すると良いと感じる。</p>	<p>表彰制度を設けて良好事例の周知を行ったり、インセンティブ制度を設けるなどしている。</p>
<p>【意見】良好事例を公表することによって、原電以外の他施設で反映されることもある。継続してほしい。</p>	
<p>設備が劣化したら、安全のために全て交換しなければならないのではないかと。また、設備の日常点検はどのように行っているのか。</p>	<p>設備劣化の対応については、設備に応じて見極め、対応している。交換が安全性を高め、効率も良いと判断した時は、期限を決めて交換している。</p> <p>代表的な日常点検の例としては、絶縁抵抗測定（導体が、周囲の箇所にショートする恐れや、耐性がどれくらいあるのかを測る）を行っている。</p>
<p>東海と敦賀は同じ会社であることから、事故事象等の情報の共有は当然図られていると考えてよいか。</p>	<p>火災と認定されない事象についても、CR[*]として同じ社内で共有している。</p> <p>※CR（コンディションレポート）：本来あるべき状態とは異なる状態、すべき行動から外れた行動や結果等の報告</p>
<p>CRについて、発生した事象の情報を全て垂れ流しにするのではなく、CAP[*]会議等で諮ったのち、公開していくという認識でよろしいか。</p> <p>※CAP（コレクティブアクションプログラム）：発生した不適合だけでなく「不適合が発生する前の段階の事象」を組織が自ら捉え、改善策を立てる仕組み</p>	<p>CRの数は、御認識のとおり、とても多い数になる。それらを毎朝首脳陣が行うCAP会議に諮り、社会的な影響の程度でグレード化し、情報公開を行っていく。</p>

<p>【意見】情報公開については、今後積極的に公開していくということで、とても良い取組であると思うが、2月4日に発生した中央制御室の火災についても、懇談会の中で報告してほしい。</p>	
--	--

※上記の意見を踏まえ、座長、原電及び事務局で協議の上、下記(3)の議題を追加

(3) 中央制御室内制御盤における火災の発生について

質問及び意見	回答
<p>一般住民として、一番起こしてもらっては困るところで火災を起こしたと感じている。</p> <p>訪問対話活動において、活動開始からの3年間で、「原子力発電への理解等を示した意見」が特に増えていない。理由の一つとして、今回の火災のようなことがあるのではないか。</p>	<p>様々な理解活動を行っているが、やはり発電所をしっかりと運営できることに尽力していかなければいけないと認識している。</p> <p>今回の火災の原因も含めて、改めて再発防止に一丸となって取り組んでいきたい。</p>

2 令和6年度（下半期）の原子力安全対策課の取組について

(1) 広域避難計画に係る住民説明会について

意見無し

(2) 安定ヨウ素剤の事前配布の状況について

意見無し

以上